

福井県から見る地球温暖化現象に関する調査研究

— 県民意識調査結果 —

高橋伸行・坪川博之・吉川昌範

Study on the Phenomena of Global Warming in Fukui Prefecture
— Consciousness Survey of the People —

Nobuyuki TAKAHASHI, Hiroyuki TSUBOKAWA, Masanori YOSHIKAWA

1. はじめに

「福井県から見る地球温暖化現象に関する調査研究」の一環として、県民が身近に感じている地球温暖化現象や影響について明らかにし、今後の施策や啓発に活用していくことを目的に県民意識調査を実施した。

2. 方法

2.1 調査方法

県民 1,543 名を対象に平成 22 年 5 月 11 日から 7 月 30 日まで郵送、メールまたは直接調査票を配布し回答を得た。

3. 結果および考察

3.1 調査回答数等

本調査の回答者数は 686 名であり、回収率は 44.5%であった。なお、回答者の属性・構成は図 1 のとおりである。

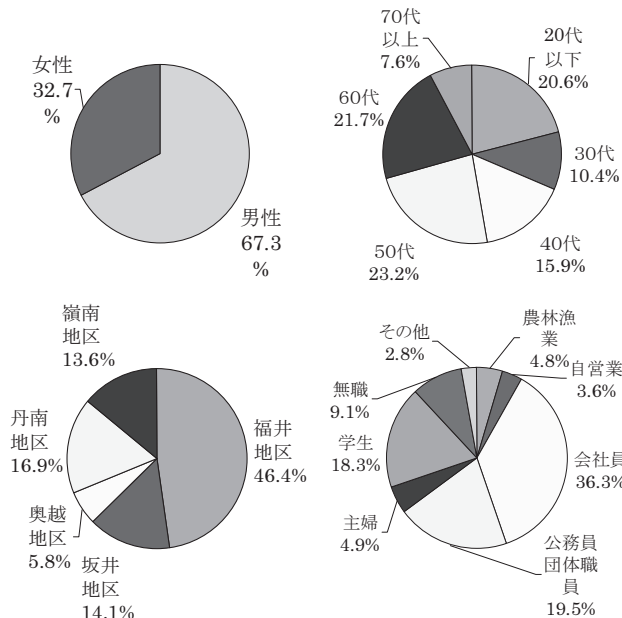


図 1 回答者の属性・構成比
(性別・年代別・地区別・職業別)

3.2 地球温暖化問題への関心

「地球温暖化問題について、関心がありますか」との問いに対して、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると 95%と高い関心度を示した(図 2)。年齢別にみると、高齢者ほど関心度が高かった。また、職業別でみた場合、学生の関心度は比較的lowかった。本調査では、若年層における学生の割合が 8 割を超えており、学生の関心度が若年層の関心度を代表している調査結果となっている。

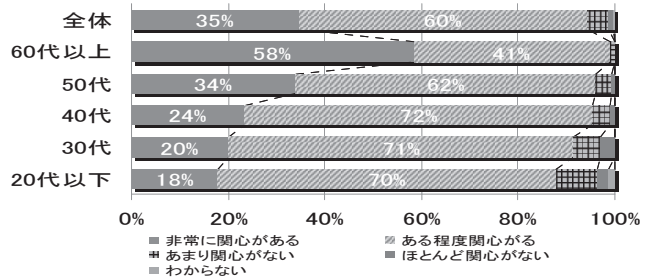


図 2 年代別関心度の比較

3.3 温暖化の影響と意識

3.3.1 温暖化のもたらす影響への関心

どのようなことを不安に感じているかとの問い(択一式)に対して、「異常気象による干ばつや大洪水などの災害の発生」を上げた人の割合が 42%と最も高く、以下、「気候の変化による農業、漁業への影響」24%、「気候の変化による生態系への影響」15%、「健康への影響」9%、「海面の上昇」7%の順となった(図 3)。

年齢別でみると、若年層は、「異常気象による災害発生」、「農業、漁業への影響」、「生態系への影響」がほぼ同率となった。

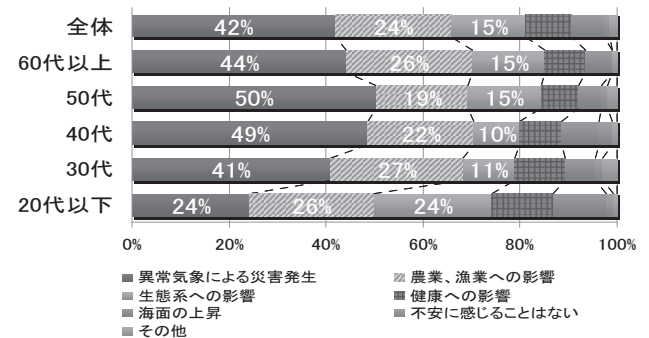


図 3 「不安に感じること」の年代別比較

3. 3. 2 身近に感じる温暖化

温暖化の影響による異変が身近で起こっていると感じているかの問いに対して、「非常に感じている」と「ある程度感じている」を合わせると83%の回答があり、ほとんどの人が温暖化の影響を身近に感じていた。

20代以下の人の「感じている」との回答が少ないが、これは、地球温暖化の影響が顕在化する以前の環境を知らないため、他の年代に比べて地球温暖化の影響を身近なものとして捉えにくいのではないかとと思われる。

地球温暖化の影響により、身近で実際に起こっていると感じることについて、①防災・沿岸関係、②水環境・水資源関係など6つの分野において、それぞれ項目を上げて示し、「そう思う」「思わない」「わからない」のいずれかの回答を求めた。その結果、「そう思う」と回答した人は①防災・沿岸関係では「水害の増加」(68%)が、②水環境・水資源関係では「降雪量の変化」(81%)が、③食料関係では「価格の変動」(66%)が、④自然生態系関係では「大型クラゲの増加」(70%)が、⑤健康関係では「黄砂飛来日の増加」(70%)が、⑥県民生活関係では「猛暑日、熱帯夜の増加」(72%)が多かった(図4)。

全体でみると、県民は「降雪量の変化」を最も身近に感じているという結果となった。

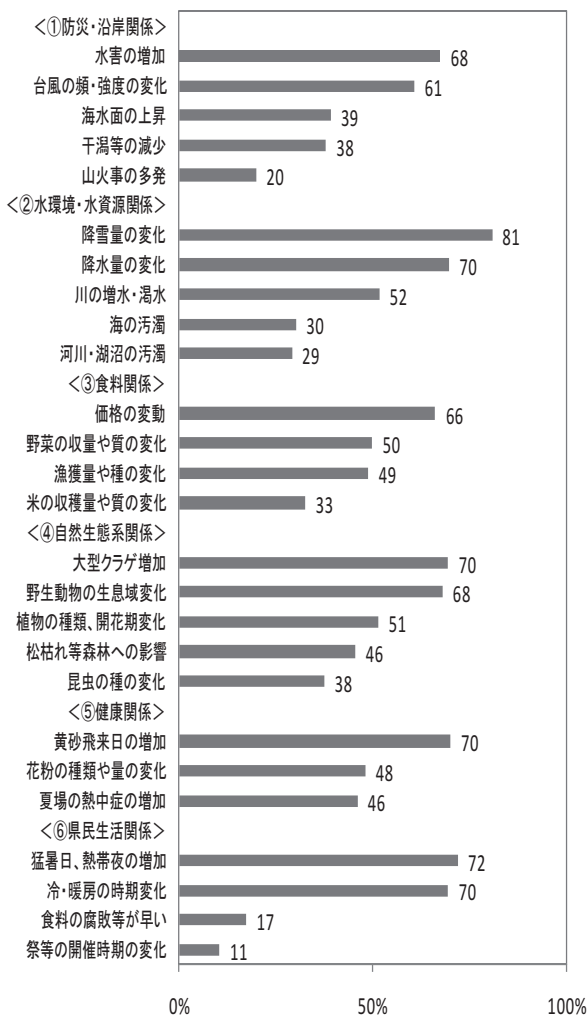


図4 感じる温暖化「そう思う」の回答結果

全体で60%以上の人が「そう思う」と回答した上位10項目について、年齢別、地区別、職業別について、その特徴をみた(図5)。その結果、年齢別では、60代以上がほぼ全部の項目で高かった。逆に、20代以下は、「水害の増加」、「台風の頻・強度の変化」、「降水量の変化」が他の年代に比べ低かった。地区別では、嶺南地区はほぼ全部の項目で他地区に比べやや高かった。また同地区では、「降水量の変化」が「降雪量の変化」と匹敵するくらい高く、雨に対する関心が高い地区であることがうかがえた。職業別では、主婦はほぼ全部の項目で高いが、中でも特に「黄砂飛来日の増加」、「価格の変動」など衣食住の日常生活で身近に感じている項目が高かった。逆に、学生は、「水害の増加」、「台風の頻・強度の変化」、「降水量の変化」が他に比べ低かった。

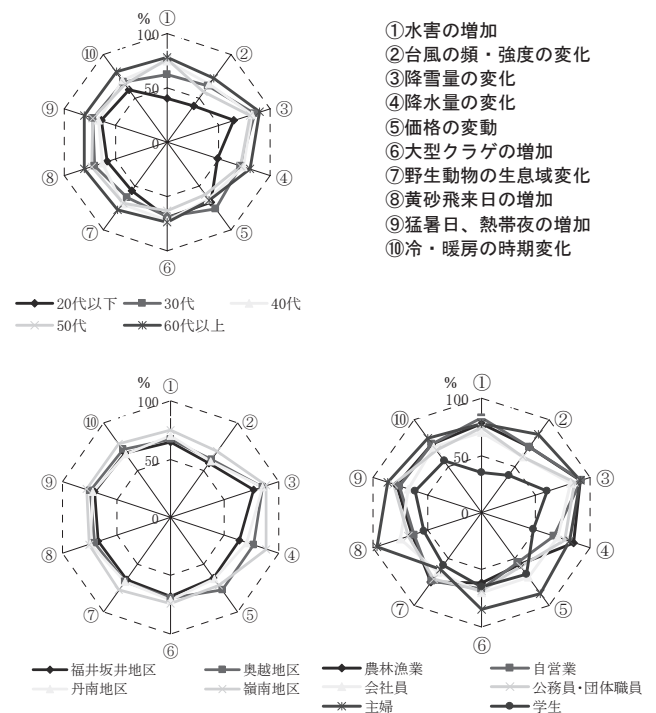


図5 上位回答項目の年代別、地区別、職業別比較

4. まとめ

平成22年5月11日から7月30日までの間、県民1,543名に対して地球温暖化のもたらす影響に関する意識調査を実施したところ、次の点が明らかとなった。

- 1 地球温暖化問題に関して県民の意識は高く、特に高齢ほど関心が高かった。
- 2 地球温暖化で不安に感じていることは、「異常気象による干ばつや大洪水などの災害の発生」を上げた県民が最も多かった。
- 3 地球温暖化の影響によって身近で実際に起こっていると感じていることは、「降雪量の変化」を上げた県民が最も多かった。